

平成28年10月6日

可児市長 富田 成輝 様

支え愛地域づくりモデル事業評価委員会
委員長 渡辺 敏夫

支え愛地域づくりモデル事業の評価結果について（報告）

支え愛地域づくりモデル事業について評価した結果を以下のとおり報告します。

支え愛地域づくりモデル事業評価委員

渡	辺	敏	夫
小	西	澄	子
村	上	寛	誉
荻	野		淑
高	井	広	吉

報 告

はじめに

支え愛地域づくりモデル事業（Kマネー事業）は、今後さらに進むと予見される少子高齢化社会に対応すべく、市民・事業者・行政がそれぞれの役割分担により「社会貢献システム」を構築するというもので、可児市が平成26年度から事業をスタートさせました。

社会貢献システムは、大きく分けて「地域支え愛ポイント制度」と「地域通貨Kマネーの発行」により成り立っています。

「地域支え愛ポイント制度」では、ボランティアによる支え合い活動（子育て世代の安心づくり・高齢者の安気づくり）を支援することによって、住民が互いに支え合う地域づくりを目指しています。また、「地域通貨Kマネーの発行」では、地域経済を活性化するとともに、事業者からの社会貢献協力を「地域支え愛ポイント制度」の運営費に充てることによって、事業者にも地域の支え合い活動を応援していただいています。

当委員会では、これまでの事業の実施状況や各種アンケートの結果、他市町村の事例等をもとに、本事業について下記のとおり評価を実施しました。

1 地域支え愛ポイント制度

（１）登録ボランティアについて

評価結果 現行制度が適正であると判断します。

他市町村で実施しているポイント交付事業では、65歳以上の市内在住者を対象としていることがほとんどですが、可児市においては、市内で活動するボランティアであれば、年齢、住所（市外も可）を問わず登録することができます。この制度を通じて、若い世代をボランティアに取り込むきっかけにつながることを期待しています。

（２）対象ボランティア活動について

評価結果 現行制度が適正であると判断します。

対象ボランティア活動は、Kマネー事業の事業趣旨に鑑み、「子育て世代の安心づくり」と「高齢者の安気づくり」に資するものとし、地域の支え合いのしくみづくりのために支援、促進を行っていくことが適当と判断します。

また、具体的な対象ボランティア活動については、年度ごとに検討し、必要に応じて拡大していくことが望ましいと考えます。

(3) ポイント付与機関について

評価結果 現行制度が適正であると判断します。

ポイント付与機関には、ボランティア活動に参加した登録ボランティアに対して、定められた基準によりポイントシールの交付を行っていただくことが適当と判断します。

(4) ポイントの付与基準、交換上限について

評価結果 現行制度が適正であると判断します。

ポイントの付与基準は、他市町村のポイント交付事業と比較しても同程度であり、適当と判断します。また、ポイントの交換上限については、他市町村と比較すると多い方であり、適当と判断します。

ポイントの付与は、市からの御礼の気持ちとして、ボランティアの活動の励みになっています。この制度は、ボランティアをさせてもらえる喜びと、市から評価してもらえる喜び、そして交換したKマネーを寄附できる喜びという3つの喜びを味わうことができる事業であると言えます。

2 Kマネーの発行

(1) Kマネーの交付方法、有効期限等について

評価結果 現行制度が適正であると判断します。

Kマネーは市内店舗でしか使用できないので、少なくとも補助金等交付分においては、これまで市外で消費されていた分が、市内消費に転換されることにより、市内経済の活性化をもたらす効果が期待できます。さらに、有効期限を設けることにより、貯蓄に回っていたお金を消費に引き出すことによっても経済効果を見込むことができます。

(2) 協力店によるプレミアム特典について

評価結果 現行制度が適正であると判断します。

プレミアム特典は協力店の任意でつけることができるので、他の店舗と差別化を図ることができる仕組みであると言えます。

(3) 協力店による社会貢献協力金の負担について

評価結果 現行制度が適正であると判断します。

協力店を対象としたアンケートの結果によると、社会貢献協力金の負担割合は大半が適正であると回答しています。社会貢献協力金は、地域支え愛ポイント制度の運営経費に充てられることによって、協力店も地域の支え合いのしくみづくりを応援することにつながるため、適当であると判断します。

(4) Kマナーの発行規模について

評価結果 毎年徐々に拡大していくことが適当であると判断します。

発行規模が適正かどうかは、毎年発行規模を拡大していくなかで、その都度適正かどうか判断しながら進めていくことが適当と考えます。

(5) 金融機関での換金業務について

評価結果 現行制度が適正であると判断しますが、今後事務改善の検討が必要です。

Kマナーの換金業務は、事業趣旨に賛同する市内金融機関に無償で協力いただいております。現行制度の継続が望ましいと考えます。ただし、今後発行規模が拡大していくのであれば、事務の改善、簡素化の検討が必要です。

(6) Kマナーの販売について

評価結果 購入者の利便性向上のために、各連絡所での販売を期待します。

現在、Kマナーは商工会議所のみで販売していますが、市民に身近な連絡所で販売できるようになれば、購入者の利便性が向上し、販売量の増加につながると考えます。また、企業の福利厚生等の利用促進についても、引き続きPRに努めていただくようお願いいたします。

(7) プレミアムKマナーの発行について

評価結果 現時点では、本事業において市が積極的に発行する必要はないと判断します。

昨年度プレミアムKマナーを発行したことにより、市内経済に好影響をもたらしたことは間違いなく考えます。しかし、支え合いのしくみをつくるという本事業の趣旨からすれば、プレミアムKマナーと通常のKマナーは全く別物であると思われます。今後の状況によっては発行が必要になる可能性はありますが、現時点では、国からの補助なしで市が単独で発行する必要はないと判断します。

3 評価結果まとめ

地域支え愛ポイント制度については、今後ますます地域の支え合いが不可欠になっていくなか、そのしくみをつくっていくうえで、ボランティアへの御礼を交付することや、ボランティア活動を活発化させる制度として、適正であると判断します。また、Kマナーの発行については、Kマナーが市内に流通することで、地域経済の活性化につながると考えられます。よって、今後もKマナーを発行し、拡大促進していくことが必要であると判断します。

当委員会としては、平成26年度からモデル事業として実施してきた実績を検証した結果、事業目的に対して有効であると評価します。また、事業の継続ならびに発展させていくことでさらに効果が表れると判断します。

報告までの協議等の経過について

第1回会議

- ・日 時 平成28年8月1日(月)
- ・内 容 事業の実施状況の報告及び事業評価・検討事項についての確認

第2回会議

- ・日 時 平成28年8月30日(火)
- ・内 容 事業評価及び事業の継続について